



緊急シンポジウム



# 辺野古海上基地問題を考える

2月1日(日)午後2時～5時 八汐荘(那覇)

環境アセス法の最初の手続きである「方法書」(那覇防衛施設局)が、近く、提示(公告・縦覧)されようとしている。他方、那覇防衛施設局は昨年11月17日、海上基地を囲む護岸と滑走路直下に沿う地質・海象(ボーリング)調査(63か所)のための海(公共用財産)使用申請(協議)を行い、沖縄県は、その可否を審査中である。文化財保護法に基づく手続きの必要性の可否についても検討を行なっている。

「アセスメントの本質は環境影響を配慮した意思決定過程の透明化(accountability)」とも指摘される。私たちは、事業者、行政、専門家、NGO、市民、相互の意見交流の場づくりを考えたい。公害調停申請が受理(2月3日に決まる予定)されれば、県公害審査会(公害紛争処理機関)も、そのような場として機能するだろう。那覇防衛施設局は、助言を受けた専門家氏名を開示しなかった。

関係者の皆さん、是非、ご協力ください。

【短信】国際サンゴ礁シンポジウム(6月28～7月2日、沖縄コンベンションセンター)、環境アセスメント学会(9月25、26日、沖縄大学)、IUCN第3回世界自然保護会議(11月17日～25日、タイ、バンコック)

と き 2月1日(日)午後2時～5時

ところ 八汐荘(那覇市松尾) TEL: 867-1191

協力費(資料代等)500円

## テーマ(仮題)&パネリスト

### サンゴ礁や海草藻場の近況

ダイバー&水中写真家の立場から	棚原盛秀(ダイビングショップ店主)
サンゴ礁研究等の立場から	(交渉中)
環境経済学の立場から	呉(オ)錫畢(ソクビル)(沖縄国際大学教授)
沖縄の自然環境～海とのかかわりで～	渡久山 章(琉球大学教授)

### ボーリング調査と環境アセス法

「現地技術調査」について	那覇防衛施設局(要請中)
環境アセス法(県条例)の目指すもの	沖縄県文化環境部(要請中)
環境アセス法違反である	真喜志好一(建築家)

軍民共用飛行場の事業主体について 徳田博人(琉球大学教授)

「おそれ公害」問題と公害審査会 加藤 裕(弁護士)

ボーリング調査関係の非公開文書 土田武信(沖縄大学助教授)

主催: 沖縄ジュゴン環境アセスメント監視団(団長・東恩納琢磨)

〒902-0061 沖縄県那覇市古島1-14-6 教育福祉会館407号

E-mail okijugon@yahoo.co.jp TEL 098-885-3008 / FAX 098-885-8230

<http://www.asahi-net.or.jp/~qg2n-tir/jugon/jugon.html>